

日本気象学会昭和39年度総会ならびに秋季大会告示

1. 期日 11月18日(水), 19日(木), 20日(金)

2. 場所 福岡市天神町天神ビル 11階ホール

3. 総会提出の議題募集

- 1) 締切: 9月15日(木)
- 2) 宛名: 東京都千代田区大手町気象庁内 日本気象学会. 封筒の表に「総会関係」と明記のこと.
- 3) 内容: 議題名とともに必ず提案理由をつけること.

4. 研究発表募集

- 1) 締切: 9月15日(木) 必着
- 2) 申込先: 東京都千代田区大手町 気象庁予報部電計室気付 岸保勘三郎
または 東京都文京区大塚 東京教育大学理学部 吉野正敏
- 3) 様式: かならず所定の用紙に記入すること. (天気 Vol. 11, No. 7 に綴込) 用紙不足の場合は事務局または支部に請求されたい.
- 4) 講演時間: 討論を含めて15分以内

5. 予稿集刊行について

前回と同じ要領で予稿集を刊行します. 予稿には必ず研究結果を記載すること. 原則として, 予稿を提出しないものは講演できないことにしますから, 講演申込者は, かならず提出して下さい. なお講演申込者には予稿用紙を送りますから, 送付先を明記して下さい.

予稿提出先: 気象庁 測器課 竹内清秀

期 限: 10月10日(土) 必着 (以後に到着した場合は予稿集に掲載できませんから, 早目に投稿して下さい)

プログラムおよび会場・宿舎の詳細は次号に掲載します. 予稿集は大会出席者には大会会場で頒布します. 大会には出席しないが予稿集を入手希望の方は学会事務局に申込んで下さい. (予価 200円)

10 月 月 例 会 の お し ら せ

(前号で予告した9月月例会は都合により10月に変更になりました.)

主題: 生気候
会期: 10月30日(金)
会場: 京都市左京区聖護院川原町 4-13 京都教育文化センター

演題, 所属・氏名, スライドの要不要, その他必要事項
なおそのほかに, 10月5日必着で500字以内の抄録を, また講演当日に150字以内の英文要旨を生気象学会事務局に提出のこと.

- (午前)
- シンポジウム: 主題 生体リズムに対する気象の影響 (とくに光の作用)
話題提供者 (予定)
動物関係 京大臨湖実験所教授 森 主一
植物関係 宮崎大教育学部助教授 中山至大
生体関係 京都府立医大教授 佐野 豊

- 主題: 水気象 (蒸発散) 会記 10月16日(金)
会場: 気象庁予報部会議室
- 主題: 気象災害 会期 10月23日(金)
会場: 気象庁第1会議室
- 主題: 気象統計 会期 10月30日(金)
会場: 気象庁第1会議室

- (午後)
- 外人講演 題未定
Kentucky Univ. Prof. L.D. Carlson.
Bluemint Univ. Prof. D.B. Dill.
 - 一般講演
講演希望者は下記事項を, 9月末日までに, 京都市上京区河原町広小路 京都府立医科大学第1衛生学教室 日本生気象学会宛に直接申込んで下さい.

11 月 月 例 会 講 演 申 込

- 主題: 大気汚染 会 場 気象庁第1会議室
会期: 未定 申込先 東京都杉並区馬橋4-499
気象研究所 神山恵三

- 主題: 風のシンポジウム
会 場 未定 (東京都内)
会期: 未定 申込先: 東京都千代田区大手町
気象庁測器課 竹内清秀

(11月月例会の講演申込締切は9月30日です.)